

令和2年4月17日

二宮町教育委員会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

- 1 開会時間 9時30分
- 2 閉会時間 11時13分
- 3 教育長名 森 英夫
- 4 署名委員 野谷 悦
- 5 教育長及び委員

出欠席	職名	氏名
○	教育長	森 英夫
○	教育委員 教育長職務代理者	山内 みどり
○	教育委員	岡野 敏彦
○	教育委員	渡辺 優子
○	教育委員	野谷 悦

- 6 出席者氏名
- | | |
|----------------|--------|
| 教育部長 | 黒石 徳子 |
| 教育総務課長 | 下條 博史 |
| 生涯学習課長 | 小笠原 純二 |
| 教育総務課長代理 | 田中 明夫 |
| 教育総務課指導班長 | 境野 朋美 |
| 教育総務課教育総務班長 | 岩崎 稔史 |
| 教育総務課教育総務班主任主事 | 渡邊 一充 |
- 7 傍聴者 なし
- 8 調整者 教育総務課教育総務班主任主事 渡邊 一充

1 開会宣言

(教育長) 令和2年度4月定例教育委員会議を開催します。

2 署名委員の氏名

野谷委員を指名する。

3 職員紹介

(教育部長) 職員の紹介を行う。

4 教育長事務報告

(教育長) 教育長事務報告を資料に基づいて行う。

(教育部長) 4月政策会議報告を資料に基づいて行う

(各課長) 各課の事務報告・事業予定について資料に基づいて説明する。

- (岡野委員) 学校ホームページの立ち上げありがとうございます。現状における学校からの唯一の窓が開いたと思うので、これを活用して情報を発信して行って欲しいと思います。動画教材などももちろんですが、文字でも気持ちは伝わるとお思いますので、積極的にお願いします。

配付物のポスティングについては教員の皆様のご苦勞が多いと思います。例えば地域の方をお願いすることはできないのでしょうか。各家庭の住所は個人情報になるので不特定多数の方をお願いすることも難しいでしょうから、地区長をお願いするなど、先生方の負担を軽くするようなアイデアはないのでしょうか。

- (教育総務課長) ポスティングに関しては、できる学校については来週のポスティングで連休までの課題を配ってしまって、次の週は電話連絡に切り替えるように動いています。学校の電話回線にも限りがあるので、ポスティングを2週連続でやる学校と、電話連絡に切り替える学校とに分かれることとなります。一昨日一色小学校で最初のポスティングが行われました。接触を避けるために細心の注意を払ってマニュアルなどを作って、インターホン越しで子どもの声を確認し、反応がなかったら電話連絡をするという方向で訪問しましたが、9割ほどの子どもが先生に会いたいということで玄関に出てきたそうです。それですごく元気をもらったと校長先生がおっしゃっていました。1件につき10分くらいかかってしまうそうですが、不安な日々を過ごしている子ども達のためにも、先生方は続けていく意味を感じているようです。
- (教育長) もうひとつは、スクールソーシャルワーカーから指摘があったのですが、休校が延びていることについて、家庭内の様子が分からない不安があるとのことでした。

虐待などの可能性がないわけではないということで、取りこぼしのないよう全ての家庭を担当の教員が把握する、直接ではなくても電話等で声を聞いて確認するなどの必要はあるのかなと思います。教育委員会としては週に1回は安否確認というか、状況把握などをしていただきたいと思います。

- (岡野委員) 機械的に対処できる部分とひとりひとり丁寧に対処すべき部分もあると思います。直接行くことも大事ですね。もう一点、1ヶ月ごとに様子を見るとのことですが、1ヶ月だったらこの方法でしのいでしまおう、という考えになってしまうこともあると思います。ところが最初から3ヶ月とか計画すると、それだったらこれもやってみようかな、というように発想の範囲が広がる可能性があると思います。1週間や1ヶ月の休校なら紙でのやりとりでしのげるけれど、3ヶ月も休校するなら本格的にオンライン授業に取り組みなくては、というふうに気持ちのスイッチの入り方が違うと思います。現状どちらが正解とは言えませんがいかがでしょう。
- (教育部長) 学校の休業は、おっしゃるとおりの部分があると思いますが、施設の方はまだ先が見通せないので、1ヶ月ごとに様子を見たいと思います。人が集まるイベントなどは、今年度は難しいと思います。
- (教育長) ZOOM等をこちらでも試してみました。すばらしいツールではありますが、これをうまく使うには課題があります。各家庭のインターネット環境が整っていなければ不公平が出ると思います。なんらかの形でオンライン授業ができればいいのですが、インターネット環境の整備状況が完全に把握できていません。大人が在宅ワークしているなか、パソコンをふさぐのもいかなものか。今はこういうものは必要ではありますが本質は対面。仮想空間でやり取りするのはまだ先の時代の話で、自分でものごとに触っていく生の授業が本来すべきことだと思っています。
- (山内委員) 学びが止まることはやはり心配です。保護者の方々の不安も大きいのではないのでしょうか。ポスティングで課題を渡す、動画の配信、様々な手段で今できる学びの教材を提供していけば自宅学習をやっていけると思います。生の授業が学校のあるべき姿で、色々な人間関係における経験が学校で学ぶことです。ですが今は技能の習得をする期間として、自粛が解けたらそういうことをするという、長期的に見た割り振りを考えるといいと思います。

先生が家庭訪問をして下さり、子どもたちや保護者の方たちはどんなに嬉しかったことかと思います。人間的に触れ合わなければいけないところはあると思いますが、家庭訪問も頻繁ですと先生のご負担が大きくなります。リモートの画面で一緒に歌を歌うなどでもいいと思います。逆にこういう時期だからこそ特別な経験が、大人になったときにプラスになって欲しいと思います。

- (渡辺委員) ホームページ見させていただきました。校長のブログなど面白くていいですね。アクセスカウンターがあるので、どのくらいの人に周知できているのかが分かっていると思います。私はメールをもらいましたが、マチコミとかでは情報がありません。保

護者への情報発信の体制について考えてもいいかもしれませんね。

- （教育総務課長） 準備ができ次第マチコミでも流すよう指示していましたが、どうしても準備が間に合わない学校があるとか、足並みがそろわないところなどもありました。先日の校長会、教頭会でも、準備が出来たところから順次マチコミで流すように伝えました。登校日に配ったプリントの中でも臨時休業などのお知らせと併せて、ホームページの件は載せています。
- （教育長） ゆくゆくは学年、学級のページもできるようになればいいと思います。今はホームページができたことを評価したいと思います。
- （野谷委員） 教育長がおっしゃったように、各学年や学級の情報が載れば便利に使えると思います。かつての新型インフルエンザのときも学校の休業があり、そのときにはいろいろ対応ができましたが、今はますますの忙しさもありなかなか難しいとは思いますが。今は学校のホームページができた事が一歩前進かなと。

教員出身として、学校の様子はどうだろうと思い個人的に聞き取ってみました。色々な先生と話して共通して感じるのは、授業時間をどう確保するか、というところです。教科書の内容とか、指導要領をこなさないといけない。これが先生達にのしかかっているのが現実かなと思っています。授業時間を確保できないと学びに格差ができてしまう、だからといって行事を削りすぎることは社会性の欠如に繋がる。これも大切あれも大切という感じで先生達も迷っています。

5 付議事項

（1）議案第1号 二宮町教科用図書採択検討委員会委員の委嘱について

（教育総務課長）二宮町教科用図書採択検討委員会委員の委嘱について資料に基づいて説明。

意見等なし

（教育長） 委員に議案第1号について諮る。

委員全員賛成により、議案第1号は承認される。

（2）議案第2号 学校の働き方改革に関する基本方針について

（教育総務課長）学校の働き方改革に関する基本方針について資料に基づいて説明

- （教育長） スクールサポートスタッフは、県費負担の職員で応援できるようになったのですが、小学校に1名しかいないので、二宮小学校に7割、一色小学校に3割ほどの割合で振り分けて勤務することになります。
- （教育総務課長） 山西小学校は時間外勤務の圧縮が進んでいるので、時間外勤務の多い

学校に振り分ける形になります。

- （教育長） 時間外勤務の把握は、先だってから教育委員会の方で進めています。学校によっては100時間を越えるような教員もいますが、山西小学校については60時間を越える教員は少なくなっています。一色小学校、二宮小学校についてはまだ時間外勤務が多いので、スクールサポートスタッフの配置をしていく方向です。
- （野谷委員） 取り組みの柱を整理したということで、すっきりしたと思います。しかし究極的には人手が足りないのだと思います。それに対する取り組みとして付け加えられたのがこのスクールサポートスタッフですが、焼け石に水になってしまうか、ないよりはマシとなるか、難しいところと思います。

（教育長） 委員に議案第2号について諮る。

委員全員賛成により、議案第2号は承認される。

6 報告・協議事項

（1）令和2年度神奈川県市町村教育委員会連合会総会について

（教育総務班長） 令和2年度神奈川県市町村教育委員会連合会総会について資料に基づいて説明。

意見等なし

（2）町立小中学校のホームページの開設について

（教育総務班長） 町立小中学校のホームページの開設について資料に基づいて説明。

- （教育長） まだ入り口が小さいところではありますが、ピックアップに入れてもらったのはありがたいと思います。
- （岡野委員） さきほど渡辺委員がホームページに関する周知についておっしゃったのは、こういうお便りを単体で出して欲しいということも含まれるのかなと思いました。どこかの付録に小さく書くのではなく、学校ホームページが開通したことだけを抜き出したお知らせを一枚出せばより目に付くのではないのでしょうか。
- （教育総務課長） 教育委員会としてホームページ運用のガイドラインは示していますが、個人情報の取扱いに対するガイドラインというのがまだしっかり確立しきっていない部分があります。他県のホームページなどに載っているもので参考になるガイドラインをお示ししていますが、教員も慎重になる部分です。

著作権の問題があり、教材の掲載は戸惑われる部分です。緊急事態宣言を受けて、文部科学省の方で著作権を解放する法整備を進めていますが、まだはっきりしてません。結局

何を載せるのが大丈夫なのかという線引きがはっきりしていません。そうすると先生方は真面目なので、こんな不完全な状態で公開していいものかと思ってしまうようです。このたび二宮西中学校だけマチコミで周知したいということで、不完全ながら周知をしています。先生方ががんばったことなので、先生方が公開できると思えば出してくださいと声掛けをしていますが、委員会の方でも周知はしていきたいと思います。

- （教育長） 文部科学省の方も今月末には動きがあるようです。良い方向に動くといいですが。
- （岡野委員） ホームページの運用という点、過去に学校ホームページ大賞というのをやっていた時期がありました。2013年に終わってしまっているんですが、上位の常連校のページを見てみると、内容が充実しているだけでなく、ガイドラインと運用ルールがしっかりしていました。上位の学校はガイドラインも公開しているので、そういうところを参考にしてはどうでしょうか。広島土堂小学校などは良く出来ています。ガイドラインもしっかりしているので参考にしてはどうでしょうか。
- （教育総務課長） 先生が笑顔で写っている動画などもどうかというふうに頼んでいるのですが、デジタルタトゥーの問題を気にする教員も多いです。教員は特にその被害にあいやすいそうですが、有志の先生だけでもお願いをして、学校に行きたくなくなるようなホームページになって欲しいと思っています。できる学校からひとつひとつ前に進んでいますので、温かく見守っていただければと思います。
- （野谷委員） 先生の顔写真はかなり難しいところだと思います。相当慎重にやらないといけません。誰でも見ることのできるページで先生方の顔をさらすのは慎重にすべきです。

（3）新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための今後の生涯学習事業の開催について

（生涯学習課長） 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための今後の生涯学習事業の開催について資料に基づいて説明。

- （山内委員） ラヂアン 20 周年記念式典の見送りは妥当だと思います。合唱などは練習もできませんし、付け焼刃もよくないので、1年半越し、2年越しで作り上げようという気持ちで練習していければいいと思います。プロへの依頼をキャンセルする手続きがまだ間に合う期間だったのもありがたかったです。20周年事業は来年、2021年度、長い期間を設けて色々な催しを行い、多くの人に参加できるような形にしていければいいと思います。絵画とか造形とか、人が密集しなくてもできるものを何かの工夫でやっていかないと、活発なこの町の文化や芸術が何もなくっては寂しいです。芸能大会なども、練習で定期的に地域の人が顔を合わせる交流の場として楽しく、有意義だと思います。前向きに考えられるように来年に向けていいものを作っていきましょう。
- （岡野委員） 継走大会についてですが、体育祭と方針を揃えてもいいのではないかと思います。準備をする時間というよりは、やるかやらないかを審議するほうがいいのではない

いでしょうか。イベントの趣旨が同じなので、体育祭をやらないならこちらもやらない方がいいのではないかと思います。そのほうが統一性も出るとは思いますがいかがでしょう。

- （教育長） 今年いっぱいについては見送ったほうがいいと思っています。イベントの準備には沢山の会合を開くわけですが、開催を見送るという方向性を決めていれば、そういった会合も整理できると思います。例えば体育祭のせんべい食い競争は、ラディアンや図書館のスタッフを動員するなどして準備に大変時間がかかりました。そのことを考えると、それだけの準備をする時間や、人が集まる機会を極力減らすために決断をしていくべきかと思っています。
- （渡辺委員） 私も見送りでいいと思います。それとともに、課題の見えている部分をなんとなく先送りにするのではなく、本質的な部分について考えを深めていって意見を出し合うべきだと思います。1年見送ることで来年以降のイベントの質を上げられるような働きかけというものをこちらからも流して、あり方の部分を検討する時間として1年かけてじっくり考えていくといいのではないのでしょうか。
- （山内委員） 私も体育祭と継走大会については同じ扱いで考えていくべきだと思います。作品展示等に関しても、全てなくしてしまうか、それとも縮小型でできるところを少し残そうか、という話になってきているのかなと思います。人が密集しない個人個人の展示ならできるのではないのでしょうか。人が集まるのは設営するときなので、作業時間を割り振るなどして、お客さんも一斉に来ないように最大限の注意を払っていけば実施できるのではないかと思います。
- （教育長） 展示ギャラリーが使えるようになったなら、こんなものが出来ました、こんなに楽しめました、というような展示ができれば明るい話題にできるのではないかと思います。何かの教室とかでみんなが集まってしまうと、それはもう本末転倒なので、個人が家で作ったものについて、個人で作ったものを展示するものはいいのではないのでしょうか。
- （岡野委員） 大きなガイドラインを作ってそれに従って、これとこれは見送り、これとこれは縮小して開催というように判断していくとやりやすいと思います。
- （教育部長） 教育委員会として、ガイドライン的なものを示せばいいと思っています。人がうまく分散できて密集し過ぎない展示であればやる方向でいいと思いますし、体育祭や継走大会のようなものは今年度は行わないというような方向が示せば今後何か出てきたときに判断がしやすいと思います。そういう方向ですと対策本部に話しもしやすいので、整備ができるといいと思っています。
- （岡野委員） そうすると、例えば先ほどの体育祭と継走大会については、ガイドラインに照らし合わせると、人が集まるイベントに該当するので今年度は見送る。文化的なものについては、集まらなくてもできる範囲でやりますと。こういう判断ができれば、みんな納得するんですね。今回の資料にある内容について言えば、1番の体育祭と4番の継走大会は今年度は見送る。それから、2番の文化祭、3番の民俗芸能のつどいについては、

単独で行えるものについてはやる、と。

- （教育部長） 民俗芸能のつどいもホールで集まるので、その基準に則ると見送るべきかと思えます。
- （岡野委員） 1番、3番、4番、5番については今年度は見送りと。
- （山内委員） 2番の中の作品展示だけ残すということですね。
- （教育部長） もちろんそのときの状況にもよりますが、2番の作品展示と、5番の20周年記念事業のかこさとし展、これについては展示なので、ラディアンが開館できる状況になっていれば開催可能かと思えます。
- （教育長） しかしこれは先に募集などのモーションを起こすわけですよ。
- （教育部長） 作品展示については団体のほうにお願いすることになります。
- （生涯学習課長） 広報でも募集をすることになると思えます。通常は5月の広報に載せています。
- （教育長） 載せ方については工夫していただいて、もし展示ギャラリーが使えるのであれば、という条件付きで展示を楽しんでもらいたいです。作品展示を除き、全ての事業の年内見送りということ。

（４）その他

－ 次回教育委員会予定 －

（教育総務班長） 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

- （渡辺委員） 学校の今後についてですが、いま、5月6日まで休校が延長となっていて、5月7日から始められそうなのかという見通しをみなさんお持ちかと思えますが、私は夏休みくらいまで難しいのではないかと思うところもあります。先ほど岡野さんがおっしゃっていたように、1ヶ月ごとの対策と、3ヶ月くらいを見通してじっくり考えることのように、学校ができることのデジタルな部分の難しさというのも見えてきていると思えます。そのコミュニケーションという部分で、できるところをやっつけていかないとと思うところです。私の家は小学校1年生と4年生というある程度低学年なので、学習を家でやっていくというの、ある程度の教材があれば親でもできるし、いまのところ特に問題は感じていません。しかし6年生とか中学生とかになると、学習に対することもそうですし、これからの受検とか進路とかといった心理面の問題もあります。学校のホームページができて、学年ごとのページがあって、担任からのメッセージがあって、クラスの中で共有できるものが出たらな、と期待していたのですが、先生方の動画を出すのは難しいといった話を聞くと、なかなかそういったものは現実的には難しいんだなと思っているところです。動画が難しいのであれば、例えば電話で週一回でも、勉強で困っていることはないですか、というような問いかけをしてみるといった取り組みはいかがでしょうか。4年生の息子は自己紹介カードが課題に入っていて、それを書いているんですが、

例えばそれを写真に撮って掲載することで、クラスの皆で共有できるようにするなどいいのではないのでしょうか。

いま小学校1年生の子どもに対して、勉強ごっこという感じで学習を始めているんですが、教科書のQRコードを読み込むと動画が見れたりして、導入にそれを見せると食いつきが良くなるので、活用させてもらっています。音楽の教科書はそういうものが充実しているのかと思いましたが、QRコードなどはありませんでした。実際の授業ではCDを使ったりしているのしょうから、音源を家庭でも上手く使えるようになればレッスンもできると思います。

この間登校日で課題をもらってきたのですが、1年生も4年生も、とりあえず家で少しやるだけで、学校に戻ったらまた皆で勉強することだから、これが勉強を進めることにはならないからね、みたいなイメージがありました。それが逆に、5月から学校に行けるといって、ちょっとした安心感に繋がると思ったのですが、そのまま5月や6月も休校となってくると、そうも言っていられないわけで、それこそ家庭でできる事で学びを深めていけないといけない段階でもあるのかなと感じます。今後の対策が気になっています。

- （指導班長） 休校が長期化していった中で、文部科学省からも子どもの学びの評価について、家庭でやったことを評価して、それで学習が進んだと確認できれば教えたことにして良い、という通知がきているが、実際のところ二宮でそこまで進められているかというところ、なかなか難しいところではあります。ただ、こちらも先日課長代理のほうで、たとえばこういう課題の出し方であれば子ども達の学びを深めることに適しているのではないかと、ということも色々なところから情報を集めています。学校の先生方にも単なるドリルなどだけでなく、先々評価するようなことを見越したような課題設定をお願いしながら進めています。
- （教育総務課長代理） 文部科学省からそういう通知が出たということは、文部科学省も、この事態が長期化することを見込んでいないかと思っています。教科によっては、例えば図工や美術などは、指示を出せば作品を自宅で作るということもできると思います。この長期休業中にできる教科書の範囲を、適切な課題を出して指示を出しておくことで、学校再開後は図工や美術はもう履修したものと扱って、その分算数などのどうしても教師の指導が必要なものを重点的に取り入れるというのは、この前校長会等で提案をしています。今後先生方を含めて課題の出し方なども検討していただければ、というところですが、なかなか先生方も先行きが見えない部分も大きいのが現状です。
- （教育総務課長） デジタルコンテンツについては、休校が長期化したらやらざるを得ないと思っています。4月7日に閣議決定した内容の中で、文部科学省から緊急対策パッケージが示されています。それを見ると、休校が長期化するであろうことが見越してあって、双方向型のデジタル授業についても色濃く出ている状態です。さりとて5月7日に学校が再開する前提で準備をしないと、学校の授業の組み立てもありますので、教務主任などは大変な思いをしていると思います。そういうなかで、どうせ長期化するから、と動画の

作成等を並行して進めていくことは、ダブルスタンダードになってしまっている状態です。その一方で教員の在宅ワークを進めなさい、というものも文部科学省から出ていて。在宅ワークもしたいのにあれもやれこれもやれでは結局休めないという話で、現場も混乱しているのは事実です。その辺は見極めつつ、一方で紙ベースでできる課題の出し方というのは示されているので、なにが二宮の教育に一番有益なのか、というのはわれわれも研究をしていかないといけないな、とは思っています。

- （山内委員） 生活面についてかなり自由になってしまっているようです。タイミングが春休みと重なってしまっているのも、長いお休みという認識を持ってしまっているようです。町の放送で朝、校歌を流すとかはできないでしょうか。町民の方々も懐かしい校歌を聞いたり、お家で保護者の方と歌ったりして所属意識、町民意識も高まりますし、規則正しい生活ができていくような工夫ができればと思います。今の様子では、学校が始まったら子供たちが登校するのがきつと感じるのでは、と不安に思ったりします。
- （岡野委員） 確かに生活習慣も大切だと思います。朝、学校のホームページに決まった時間に課題が出て10分で消えてしまう仕組みをつくるか、決まった時間に作業をしなくてはいけなくなるような仕組みができればいいのですが。
例えば、在宅勤務は信頼関係で成り立っています。在宅勤務を開始するとき、これから開始します、今日はこれをやります、というものをメールで送る仕組みになっています。終わったときは、まもなく終了します、というのをメールで書いて送ります。これで開始と終業の時間をきっちりメールで管理するというやり方をしています。子どもたちにもそういうものができるといいのですが。具体的な案は思いつきませんが、あえて掲載時間を限定することで、決まった時刻にホームページにアクセスする必然性を持たせる考え方もあると思います。
- （野谷委員） 秋田県などでは町内放送で朝の起床の時間を伝えるようなことをやっているようです。二宮でそれが受け入れられるかという問題はありますが。
- （教育部長） 町のほうに提案してみようと思います。
- （山内委員） 教科書採択は予定通りに実施でしょうか。
- （教育総務課長） 教員の皆さんに出ていただく調査委員会もやらなければならないものです。不要不急のものではないので実施いたします。
- （指導班長） 県の方も研修が中止になりつつありますが、教科書採択については行っていきます。

（11時13分 閉会）